

令和 7 年 6 月定例会一般質問発言通告表

発言 順序	1 3	議席 番号	1 2	氏名	小 松 快 造 議員	1 / 2
発 言 項 目		要 旨				答 弁 者
1	小、中学校教育の現状と課題について	学校教育は、こどもの成長に不可欠な役割を担うが、様々な問題を抱えている。学校と家庭それぞれの役割と関わり方、よりよい教育環境を整えることが必要と考える。そこで以下伺う。 (1) 教育長は「富士山学習」の取組についてどのように考えるのか伺う。 (2) 今の学校教育には、家庭や地域で行うべきことを学校や教員が担っているため教職員への負担増につながっていると感じるがいかがか伺う。 (3) こどもたちの多様化が叫ばれている今、生徒指導に苦慮していることは何かあるのか伺う。 (4) 少子化と人口減少が進む中で、学校教育を維持するための策は何かあるのか伺う。 (5) 市内の学校でも保護者によるカスタマーハラスメントがあると聞いている。現状増えているのか、また何か対応策があるのかを伺う。 (6) 教員不足がメディアなどでも取り上げられているが、富士宮市の現状はいかがか。また、対策はどのように考えているのか伺う。 (7) 学校給食は、カロリー・量ともに適正と考えられるのか伺う。				市 長 副 市 長 教 育 長 関 係 部 長
2	令和のコメ騒動について	昨年の夏頃から日本人の主食である米不足が騒がれ始め、今では販売店の陳列棚から米袋が消えるという異常事態が発生している。小泉進次郎氏が農林水産大臣に就任し、備蓄米を随意契約にて放出したことにより市場価格の変化が見え始めた。しかし、備蓄米には数量の限界があるため、この現象について以下伺う。 (1) 昨年からの米騒動の原因をどのように分析されているのか伺う。 (2) 市内の米不足の現状はいかがか伺う。 (3) 富士宮市における今年の米の収量予測は立てられているのか。また、稲作農家に対しどのように指導していくのか伺う。 (4) 富士宮市ではここ10年における稲の作付けの変動はあるのか伺う。 (5) 米飯給食への影響はないのか。また、提供される米は古米、古古米、古古古米のいずれを提供するのか伺う。 (6) 米農家からの出荷額は、2023年は1俵（60kg）当たり1万7千円から1万8千円ぐらいで、昨年2024年は2万円から2万4千円であった。しかし、肥料及び燃料の高騰により1俵当たりの生産コストは約1万7千円で、なんとか帳尻が合う程度で、これでは利益が出ず赤字が膨らむ一方である。市として何か対策があるのか伺う。 (7) 日本の農業政策はこのままで良いのか市長の見解を伺う。				市 長 副 市 長 教 育 長 関 係 部 長
3	興味ある政治にするためには	富士宮市議会でも多くの議員により、投票率を上げるための方策についての一般質問があった。そこで以下伺う。 (1) 令和6年の衆議院議員総選挙と令和5年の市議会議員選挙の年代別投票率の分析はされたのか伺う。				市 長 副 市 長 教 育 長 関 係 部 長

令和 7 年 6 月定例会一般質問発言通告表

発言 順序	13	議席 番号	12	氏名	小 松 快 造 議員	2 / 2
発 言 項 目		要 旨				答 弁 者
		(2) 小中学校にて、選挙権が20歳から18歳に変わったことをどのように児童生徒に伝えているのか伺う。 (3) 小中学生が政治に興味を示すためにはどのような取組がよいのか伺う。 (4) 18歳に達した高校生の投票率はいかがか伺う。				